

きれい★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ！



**キュービクルの中から微かな異臭が！？
嗅覚も最大限に活用し、事故を未然に防止！！**

点 検 対 象	ゴルフ場	点 検 地 区	千歳市
きれいポイント	月次点検中、キュービクル扉を開けた瞬間に、微かにですが『金属を溶接しているような』異臭がしたため、注意して点検したところ、ブレーカ負荷側端子の一部が黒くなっているのを発見しました。		

■現場の状況と対策

非接触で温度を測定できる放射温度計で温度を確認したところ、200℃を超える高熱が確認されたため、すぐにお客さまに説明してブレーカを切らせていただきました。

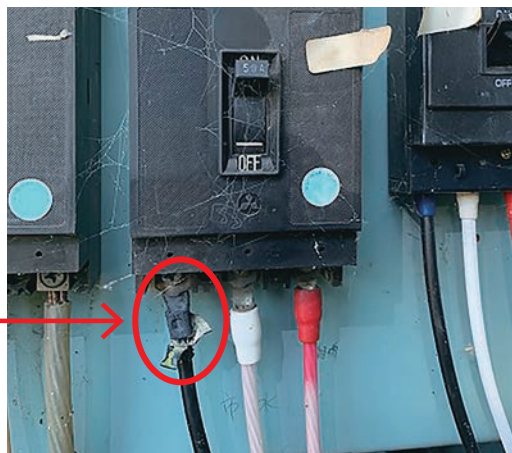
黒化した配線を取り外すためブレーカに触れたところ、ほとんど力を入れていないにもかかわらずブレーカが壊れてしまったため、熱によりブレーカ自体も劣化していたことが分かりました。

当該ブレーカは、給水ポンプの回線に使用されているもので、切ったままでは水が使用できなくなるため、キュービクル内の予備ブレーカに配線を切り替えて仮復旧としました。

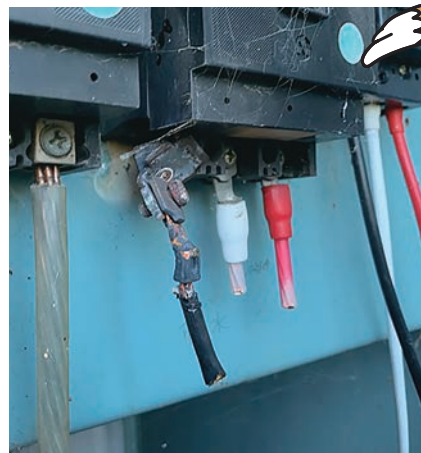
原因は経年劣化や振動によって接触不良になったものと推定されますが、放置すれば火災につながる恐れもあり、大変危険な状態でした。



熱により、
被覆が溶けて
剥がれた
端子部分



発見時のブレーカの状態



小さな力で破損してしまったブレーカ

■技術者からのワンポイントアドバイス

今回は、私たちが点検に行った際に発見できたケースですが、普段から電気を使用されているお客さまの『気づき』が電気事故を未然に防ぐ大きなポイントになると考えています。

普段電気をお使いになっていて気になることがありましたら、担当事業所にお気軽にご連絡下さい。



千歳事業所
真鍋 遼